

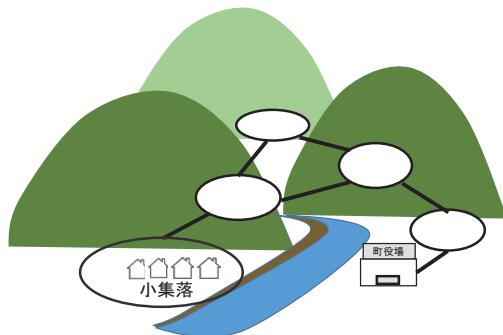
中山間地の地域資源を活用したコンパクト地区防災ネットワーク

減災復興政策研究科 阪本真由美

キーワード 防災対策、中山間地、過疎・高齢化、地区防災計画、地震、土砂災害

研究概要

中山間地では、過疎・高齢化が進んでおり、地域における防災の担い手が少ないという課題がある。また、山間を流れる河川沿いの限られた平地に集落が散在し、平時は集落間が橋梁で結ばれているものの、土砂災害・河川氾濫・地震などの災害が発生すると孤立するリスクが高い。さらに、市町村合併により市域が広域化しており、災害時に行政の支援を得ることも困難である。その一方で、自然資源が豊かであり、人的ネットワークが緊密であるという特徴もある。中山間地において、小集落を単位として地域の資源を活かした防災基盤を構築するとともに、小集落間を結ぶ防災ネットワークを構築し、地域の豊かさを活かした災害に強い地域づくりを行う。



アピールポイント

過疎・高齢化が進み、土砂災害・豪雨災害・地震などにおける被災リスクが高い小集落は日本全国に数多くある。そのような地域においても、地域にある豊かな自然資源・人的ネットワークを効果的に活用することにより、大規模災害にも対応可能な防災システムを構築することができる。地域の資源を活かした、コンパクト地区防災計画のモデルを提案する。

応用分野

防災計画、中山間地活性化、災害時要援護者対策、地域創生、ソーシャルキャピタル、火山防災、土砂災害対策